

表紙共6枚

北熊本(R6)空調機保守点検

件名	北熊本(R6)空調機保守点検					縮尺	一
図名	表紙					図番	1/6
業務課長	管理科長	營繕班長	電気係長	水行係長	施設管理	管財主任	設計者
陸上自衛隊北熊本駐屯地 業務課管理科營繕班	令和6年3月25日						

仕様書

1 件名：北熊本(R 6)空調機保守点検

2 作業場所：熊本県熊本市北区八景水谷2丁目17番1号 隣上自衛隊北熊本駐屯地
熊本県合志市豊岡字須屋 隣上自衛隊 黒石原演習場(自動車教習所)

3 履行期間：契約締結日～令和7年3月31日まで

4 概要：下表による、設置されている箇所の空調機保守点検を実施する。

作業箇所	作業時期	
	6.5～シ・サンク点検	6.10～シ・サンク点検
北熊本駐屯地	○	○
No.8隊舎(3号隊舎)	○	—
No.55補給倉庫	○	—
No.61局舎	○	—
No.281通信局舎	○	—
No.538隊舎(WAC隊舎)	○	○
No.556庁舎	○	○
No.59整備場	○	—
No.600局舎	○	—
No.609隊舎(6号隊舎)	○	○
No.611厚生センター	○	—
No.650隊舎(7号隊舎)	○	○
No.678広報館	○	—
No.679庁舎(1号舎)	○	○
No.686庁舎(8号舎)	○	○
黒石原演習場		
No.7教場	○	—

- 5 一般事項
- 1 本役務において図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁舎総務部監修「建築保全業務共通仕様書(最新版)」により実施するものとする。
 - 2 受注者は仕様書及び現地において、相違・誤義あるいは不明な点が生じた場合は、係官と協議してその指示に従うものとする。
 - 3 役務中における火災予防、労働安全及び往来施設等の保護には、十分注意を払うものとし、汚損した場合は、受注者の責任において速やかに原形に復旧する。
 - 4 受注者は、保守点検の不備等により空調機等が故障した場合についても受注者の負担とする。
 - 5 本役務に際して本仕様書に明記なき事項についても当然処置すべき事項は、受注者の負担で実施する。
 - 6 本役務の写真は、作業前、作業中、完了時及び係官の指示する箇所を撮影し、鮮明な写真を写真台帳に整理のうえ1部提出するものとする。
 - 7 本役務の点検結果報告書をシーザンイン・オフ毎に速やかに1部提出するものとする。
 - 8 また、異常を発見した場合は速やかに係官に報告することとともに、報告書に明記する。
 - 9 本役務では原則として、駐屯地の用水、電力の使用はできない。使用する場合は係官の許可を得るものとし、後日使用料を徴収するものとする。

6 特記事項

- 1 保守点検は「点検表」に基づき実施し、作業終了後は報告書を提出する。
- 2 保守点検により不良箇所があった場合、報告書に全般の不良箇所及び建物ごとの不良箇所の総括表を作成し提出する。
- 3 冷却塔は、冷房期間終了後に、清掃及び水抜きを行うこと。
- 4 シーズンオフ点検は、冷房期間終了後、暖房開始時期までに実施すること。また、吸収式冷凍機及びエアハンは通常運転(暖房)ができるようバルブ切り替えを行うこととし、細部は係官の指示による。
- 5 点検の結果に応じ実施する保守の範囲は、次のとおりとする。
 - ア 汚れ、詰まり、付着物等がある部品又は点検部の清掃
 - イ 取付不良、動作不良、ずれ等がある場合の調整
 - ウ ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増し締め
 - エ 次に示す消耗部品等(請負者負担)の交換又は補充

(1) 潤滑油、グリス、充填油

(2) パッキン、ガスケット、Oリング類

(3) 精製水

(4) 接触部分、回転部分等への注油

(5) 軽微な損傷がある部分の補修

(6) オカキ装(タッチペイント)

(7) その他これらに類する軽微な作業

(8) 点検は、原則として目視、触覚又は搔打等により行う。

(9) 測定を行う点検は、定められた測定機器又は当該事項専用の測定機器を使用する。

(10) 異常を発見した場合には、同様な異常の発生が予想される箇所の点検を行う。また、別途修理が必要な場所は、見積書を提出するものとする。

7 その他

- 1 冷房期間(基準)：令和6年6月20日～令和6年9月10日
- 2 暖房期間(基準)：令和6年11月25日～令和7年3月15日
- 3 冷房及び暖房の実施期間は変更する場合がある。
- 4 時期の変更があった場合等は、シーズン(IN・OFF)点検の細部実施日の調整を係官とするものとする。
- 5 吸収式冷凍機の保守点検については、メーカーに実施させるものとする。
- 6 吸収式冷凍機の保守点検の際は、メーカー業者であることを係官が了承した後、実施するものとする。
- 7 本役務に際して本仕様書に明記なき事項についても当然処置すべき事項は、受注者の負担で実施する。
- 8 本役務の写真は、作業前、作業中、完了時及び係官の指示する箇所を撮影し、鮮明な写真を写真台帳に整理のうえ1部提出するものとする。
- 9 本役務の点検結果報告書をシーザンイン・オフ毎に速やかに1部提出するものとする。
- 10 本役務では原則として、駐屯地の用水、電力の使用はできない。使用する場合は係官の許可を得るものとし、後日使用料を徴収するものとする。
- 11 作業完了に際し、係官等、立会いのもと各装置が正常に機能するか確認するものとする。

件名	北熊本(R 6)空調機保守点検	縮尺	一
図名	仕様書①	図番	2/6

陸上自衛隊北熊本駐屯地	業務課管理科監督班	令和6年3月25日
-------------	-----------	-----------

8 設置場所及び機器

場所	点検機器	メーカー・型式	冷房能力	数量	備考
No.660庁舎	水冷式チーリングユニット 空研工業 冷却塔 冷却循環ポンプ	三菱電機 SKB-50PR エバラ 65×50FSG	135.5kw 226.7kw 1台 1台	1台	
No.536隊舎(WAC)	水冷式チーリングユニット 冷却塔 冷却循環ポンプ	三菱電機 SKB-40S テラル極東 SJ-45×50H	123.2kw 181.4kw 1台	1台	
No.609隊舎(6号)	二重効用吸収冷凍機 冷却塔 冷却循環ポンプ	エバラ 空研工業 エバラ	553kw 553kw 126×100FS4K618	1台 1台	メーカー指定
No.650隊舎(7号)	エアハンドリングユニット 冷却塔 水冷式チーリングユニット 冷却塔 冷却循環ポンプ	ダイキン工業 AHUJUKEAR エアハンドリングユニット 三菱電機 SKB-80PR エバラ	100×80FS4K618 100×80PSK618 100×80PSH	2台 2台 1台	IP-RP
No.8隊舎(8号)	冷水循環ポンプ 二重効用吸収冷凍機 冷却塔 冷却循環ポンプ	エバラ ダイキン工業 エバラ エバラ	80×85FSJ ADSN10B 100×80PSJ	1台 1台 1台	メーカー指定
No.611厚生センター	空冷ヒートポンプエアコン 空冷ヒートポンプエアコン 空冷ヒートポンプエアコン 空冷ヒートポンプエアコン 空冷ヒートポンプエアコン	ダイキン工業 SRQ355PAR ダイキン工業 PFAW-P5600M-E PFAV-P1400M-E	9.2冷凍, 4.28冷凍, 6.09冷凍, 6.09冷凍, 12.5 kw	1台 1台 1台 1台 2台	機械室、屋上
黒石原演習場	水蓄熱ヒートポンプエココン 空冷ヒートポンプエココン 空冷ヒートポンプエココン 空冷ヒートポンプエココン	三菱電機 PUHY-P450MKHS-E-ST 三菱電機 PUHY-P450MKHS-E-ST	4.17冷凍, 3.27冷凍,	1台 1台	屋上
No.679庁舎 (A 庁舎)	エアハンドリングユニット 空冷ヒートポンプエココン	日立 昭和鉄工 CH-050BK CH-115BK CH-070BK CH-080BK	180kW×3 1台 1台 1台 1台 1台	1台 1台 2F 3F 2台 4F・5F	
No.678庁舎	調滑ポンプ 空冷ヒートポンプエココン	川本ポンプ 三菱電機 PUYH-EP160DGK PUE-ZRAMP80H44 PUE-ZRAMP56K4A PUE-ZRAMP40KA	GEI100HAME15 16.0kw 7.1kw 5.0kw 3.0kw	2台 1台 1台 1台	
No.686庁舎 (B 庁舎)	空気熱源ヒートポンプエココン エアハンドリングユニット 空冷式チーリングユニット エアハンドリングユニット	昭和鉄工 東芝キャリア RUA-SP423HK3 TUC-10H TUC-90H	CAYH-P1180A2-P-BS CY-060BK CY-360BK 150kw×3	3台 1台 1台 1台	2F機械室 屋上 1F機械室
	f 制御				

9 点検表					
(1) チリングユニット点検表		点検項目	点検内容	周期	備考
1 基盤・固定部		① 電気、沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの締みの有無を点検する。 ③ 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。		IN-OFF	
2 外観の状況				IN-OFF	
a 本体		腐食、変形、破損等の有無を点検する。		IN-OFF	
b 保冷材		保冷材の損傷及び脱落の有無を点検する。		IN-OFF	
3 内部の状況					
a 熱交換器		ファンコイルの汚れ、損傷等の有無を点検する。		IN-OFF	
4 付属品					
a 溫度計及び圧力計		① 正常値を指示していることを確認する。 ② 取付け部等の漏れの有無を点検する。		IN-OFF	
b 安全弁		③ 取付け部等の漏れの有無を点検する。		IN-OFF	
c クランクケースヒーター		漏れの有無及び作動の良否を確認する。		IN	
d 操作盤		④ 電源供給の有無を確認する。		IN-OFF	
e 電磁開閉器		漏電抵抗を測定し、その良否を確認する。		IN-OFF	
f 接地		漏電及び変色の有無を確認する。		IN-OFF	
6 保安装置		① 測定値の異常の有無を点検する。 ② 漏電抵抗を測定し、その良否を確認する。		IN-OFF	
a 圧力開閉器		③ 動的の良否を点検する。		IN	
b 吐出ガス温度サーモ		④ 作動の良否を点検する。		IN	
c 断水リレー		⑤ 作動の良否を点検する。		IN	
d インダクターロック		⑥ 動形、被振等の有無を点検する。		IN	
e 可溶性		⑦ 漏れの有無を点検する。		IN	
f 冷媒系統		⑧ 配管の振動、接触、磨耗、腐食等の有無を点検する。		IN-OFF	
g 油脂油系統		⑨ 油脂油の有無及び油量の適否を点検する。		IN-OFF	
h 布水系統		⑩ 漏れの有無を点検する。		IN	
i 通水試験		⑪ 通水試験を行い、漏れに支障のないことを確認する。		IN-OFF	
j 音及び振動		異常のないことと確認する。		IN	
k 電源、電圧及び電流		① 調査時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。		IN	
l 制御		② 供給電流が規定値内にあることを確認する。		IN	
m 水温、圧力、容量及びタイマー制御が設定値で作動することを確認する。		③ 水温、圧力、容量及びタイマー制御が設定値で作動することを確認する。		IN	
n 水系統(排水系統を除く)は、確実に水を抜いたうえ保存する。		④ 水系統(排水系統を除く)は、確実に水を抜いたうえ保存する。		OFF	
12 保存					

件名	北原本(R6)空調機保守点検	幅尺	一
図名	仕様書②	図番	3/6
陸上自衛隊北原本駐屯地	業務隊管理科營繕班	令和6年3月25日	

(2) 吸收冷凍機点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を点検する。 ②固定器具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。	IN	
2 外観の状況			
a 本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	IN	
b 保溫材及び保冷材	損傷及び脱落の有無を点検する。	IN	
3 付属品			
a 温度計及び圧力計	①正常値を指示していることを確認する。 ②取付け部等の漏れの有無を点検する。 ③汚れ及び損傷の有無を点検する。	IN	
4 気密確認	機内圧力が規定値内であることを確認する。	IN	
5 電気系統			
a 操作回路及び動力回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN	
b 端子	端子、変色及び配線の有無を点検する。	IN	
c タイマー	起動制限、運転、その他のタイマーが設定値で作動することを確認する。	IN	
d サーマルリレー	キヤントボンプ及び油気ボンプ用サーマルリレーの設定値を確認する。	IN	
e 電源棒	電源棒の機能を点検する。	IN	
f 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	IN	
g 接地	①断線及び緩みの有無を点検する。 ②接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN	
6 保安装置			
a 作動試験	リレー及び保護装置が規定値で作動することを確認する。	IN	
b インターロック	①運動の良否を確認する。 ②リンク装置の緩みの有無を点検する。	IN	
7 蒸気圧力調整弁	①実測値及び操作回路により作動させ、その良否を点検する。	IN	
8 冷水及び冷却水系統	①弁の開閉の良否を確認する。 ②冷水及び冷却水系統の各水室部に水漏れのないことを確認する。 ③ストレーナーの目詰まり、損傷等の有無を点検する。	IN	
9 運転調整			
a 音及び振動	異常のないことを確認する。	IN	
b 主電源、電圧及び電流	①運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。 ②運転電流が規定値内にあることを確認する。	IN	
c 電動機	電動機の回転方向が正しいことを確認する。	IN	
d 制御	蒸気調整弁が設定温度で設備的に作動することを確認する。	IN	
e 熱源	①供給蒸気の1次圧力が規定の許容範囲内にあることを確認する。 ②非運転時に、蒸気調節弁にリーグのないことを確認する。	IN	
f 熱交換機	①冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、冷却温度、溶液濃度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることを確認する。	IN	
10 真空装置	②不燃物の漏洩及び冷却管の汚れの有無を点検する。	IN	
a 抽気ポンプ	①起動時に固着及び異音がなく、抽氣能力に異常のないことを確認する。 ②漏洩する。	IN	
c リーク試験	②ベルトの張りの良否及び油面の適否を点検する。	IN	
d ハラシクムセルユニット	抽気ポンプを手動で全開にして、真空計の変化から開通していることを確認する。	IN	
e 真空引抜	ハラシクムセル部の漏洩及び冷却水の圧力を所定の圧力まで抽氣する。	IN	
11 冷媒及び吸収剤	①標準した溶液を適量採取し、露点止利濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内にあることを確認する。 ②溶液に汚れのないことを確認する。	IN	
12 熱交換機	③水槽の汚れ及び腐食の有無を点検する。	IN	

(3) パッケージ形空気調和機点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を点検する。 ②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。	IN	
2 外観の状況			
a 本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	IN	
b 保溫材	損傷及び脱落の有無を点検する。	IN	
3 付属品			
a 温度計及び圧力計	①正常値を指示していることを確認する。 ②取付け部等の漏れの有無を点検する。 ③汚れ及び損傷の有無を点検する。	IN	
4 気密確認	機内圧力が規定値内であることを確認する。	IN	
5 電気系統			
a 加温用給水・冷却水	①給水止弁の開閉を点検する。 ②漏れ及び汚れの有無を点検する。	IN	
b ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。	IN	
c ドレン排水	本体のドレン排水装置を行い、支障のないことを確認する。	IN	
6 電気系統			
a 操作回路及び動力回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN	
b 端子	端子、変色及び配線の有無を点検する。	IN	
c 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。	IN	
d クランクスビーツ	通電及び送熱状態に異常のないことを確認する。	IN	
7 送風機			
a Vベルト	緩み、亀裂、磨耗等の有無を点検する。	IN	室外機合
b 軸受	異音及び異常振動等の有無を点検する。	IN	室外機合
c 羽根車	汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN	室外機合
d 電動機	回転方向が正しいことを確認する。	IN	室外機合
8 エアフィルター			
a 木材	詰まり、損傷、磨耗等の有無を点検する。	IN	
b 枝	①ガス漏れの有無を点検する。	IN	
c 布	②配管の損傷の有無を点検する。	IN	
d 羽根車	汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN	
e 熱交換機	①フィンコイル及び濾過器の汚れ、損傷等の有無を点検する。 ②運動ヒーターの汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN	室外機合
f 加湿器	①運動の良否を確認する。 ②汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN	室外機合
9 保安装置			
a インターロック	室内送風機運転と(補助)電気ヒーターが連動して作動することを確認する。	IN	
b 圧力開閉器	作動の良否を点検する。	IN	
c 可溶性又は安全弁	ガス漏れ及び変形の有無を点検する。	IN	
d 温度ヒューズ	溶断、変形及び異色の有無を点検する。	IN	
e 過熱防止器	正常値を示していることを確認する。	IN	
f 圧力計	正常値を示していることを確認する。	IN	
10 自動制御機器	①温度調節器、湿度調節器、タイマー制御、容量制御等が設定値で作動することを確認する。	IN	
11 運転調整	異常のないことを確認する。	IN	
a 音、振動	①供給電源電圧に異常のないことを確認する。 ②運転時における電圧変動が規定値内であること確認する。	IN	
b 電源電圧	②運転時における電圧変動が規定値内であること確認する。	IN	
c 運転電流	①主電流及び蓄電池電流が定格以下であることを確認する。	IN	
d 冷却機油	汚損劣化及び油量の適否を点検する。	IN	
e 熱交換状況	冷媒、室外機及び室内器吹出し空気の温度等を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。	IN	

件名	北浦本(R-6)空調機保守点検	縮尺	一
図名	仕様書③	図番	4/6

(4) 冷却塔点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を点検する。 ②基礎ボルトの締み及び劣化の有無を点検する。 ③防振装置の損傷等の有無を点検する。 ④防振スッパーの締み及び劣化の有無を点検する。	IN	
2 外観の状況			
a 本体	損傷、変形及び汚れの有無を点検する。	IN	
b 散水装置	①損傷、変形、さび及び汚れの有無を点検する。 ②雨水管の回転が円滑であることを確認する。	IN	
c ルーバー	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	IN	
f 充填材	①スケール等の付着の有無を点検する。 ②目詰まりの有無を点検する。	IN	
g 梁台	③塵風、変形、腐食等の有無を点検する。	IN	
h 梯子及び点検扉	①損傷、変形、腐食等の有無を点検する。 ②固定金具の劣化及び締めたてボルトの締みの有無を点検する。	IN	
3 本體			
a 本体	①外表面の損傷、変形及び汚れの有無を点検する。 ②水漏れの有無を点検する。	IN	
b 給水装置	③水位が規定の位置にあることを確認する。	IN	
c ストレーナー	④ルータップ等が確実に作動することを確認する。	IN	
d 送風機	目詰まり、損傷等の有無を点検する。	IN	
e 羽根車	⑤通風量の締み、腐食等の有無を点検する。	IN	
f ファンケーシング	①損傷、腐食、汚れ等の有無を点検する。 ②内側に支障のないことを確認する。	IN	
g 軸受	③損傷、腐食等の有無を点検する。	IN	
h フレキシブルジョイント	④軸が円滑に回転することを確認する。	IN	
4 電動機			
a 電動機	①損傷、腐食、汚れ等の有無を点検する。 ②内側に支障のないことを確認する。	IN	
b ファンケーシング	③油量の過多や不足を点検する。	IN	
c 軸受	④油量、過多等の有無を点検する。	IN	
d フレキシブルジョイント	⑤保護カバー等の有無を点検する。	IN	
e ベルト	①油量、過多等の有無を点検する。 ②保護カバー等の有無を点検する。	IN	
f フレーリー	③運転音の異常等の有無を点検する。	IN	
g フレーリー	④保護カバー等の有無を点検する。	IN	
5 散水ポンプ			
a 本体	汚れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	IN	
b 電動機	②油量が正確な方向で正しいことを確認する。	IN	
c 軸受	③油量が正確な位置にあることを確認する。	IN	
d フレキシブルジョイント	④軸の回転方向が正確であることを確認する。	IN	
e ベルト	⑤保護カバー等の有無を点検する。	IN	
f フレーリー	⑥運転音の異常等の有無を点検する。	IN	
6 送風機			
a 本体	汚れ、損傷、変形、さび及び汚れの有無を点検する。	IN	
b 電動機	②油量が正確な位置にあることを確認する。	IN	
c 軸受	③油量が正確な位置にあることを確認する。	IN	
d フレキシブルジョイント	④軸の回転方向が正確であることを確認する。	IN	
e ベルト	⑤保護カバー等の有無を点検する。	IN	
f フレーリー	⑥運転音の異常等の有無を点検する。	IN	
7 電動機			
a 本体	汚れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	IN	
b 電動機	②油量が正確な位置にあることを確認する。	IN	
c 軸受	③油量が正確な位置にあることを確認する。	IN	
d フレキシブルジョイント	④軸の回転方向が正確であることを確認する。	IN	
e ベルト	⑤保護カバー等の有無を点検する。	IN	
f フレーリー	⑥運転音の異常等の有無を点検する。	IN	
8 ポンプ点検表			
点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①固定金具の劣化及び構造部品の有無を点検する。 ②防振金具、ストッパー等の劣化の有無を点検する。	IN	
2 外観の状況			
3 エアコン	①散水装置の漏水の有無を点検する。 ②排水ポンプの漏水の有無を点検する。	IN	
4 ドレンポンプ	③排水管の漏水の有無を点検する。	IN	
5 ハンドル	④手輪の操作性を確認する。	IN	
6 プラットフォーム	⑤運転台の構造の有無を点検する。	IN	
7 フレーリー	⑥運転音の異常等の有無を点検する。	IN	

(6) ファンコイルユニット点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 外観	①腐食、変形、錆斑等の有無を点検する。 ②固定金具、固定ボルトの締み、変形、腐食等の有無を点検する。	IN	
2 本体			
a 本体	③損傷及び脱落の有無を点検する。	IN	
b 吹出口	汚れ、破損等の有無を点検する。	IN	
3 送風機			
a パーツ車	①汚れ及びさび、腐食、変形等の有無を点検する。 ②回転ペラノスの良否を確認する。	IN	
b 電動機	①異常音、異常振動等の異常の有無を点検する。 ②絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN	
c 芯材	③回転がスマーズであることを確認する。	IN	
d 吹出口	④冷温水コイルの破損及び腐食の有無を点検する。 ⑤ドレンの汚れ及び目詰まりの有無を点検する。	IN	
4 排水系統			
a ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。目詰まりのないことを確認する。	IN	
b ドレン排水	本体のドレン排水機能を行い、目詰まりのないことを確認する。	IN	
5 エアフィルター			
a 木材	汚れ、損傷等の劣化の有無を点検する。	IN	
b 純	変形、腐食等の劣化の有無を点検する。	IN	
6 電装部品			
a 電気配線	損傷、過熱、劣化等の有無を点検する。	IN	
b 接続端子	端子接続の緩みの有無を点検する。	IN	
c 操作スイッチ・運転表示灯	①操作スイッチの良否を確認する。 ②表示灯の点灯状態を点検する。	IN	
7 弁類			
a ベルト	③固定と接合部の緩みの有無を点検する。	IN	
b ドレン	①損傷及び破損の有無を点検する。 ②エア抜き弁及びドレン抜き弁の良否を確認する。	IN	
c ハンドル	③芯出しの良否を確認する。	IN	
d ハンドル	④ボンブの吸込圧力及び吐出し圧力を計容範囲内にあることを確認する。	IN	
e ハンドル	⑤ダクト内に真空度及び吐出し圧力が計容範囲内にあることを確認する。	IN	
f ハンドル	⑥ダクト内に真空度及び吐出し圧力が計容範囲内にあることを確認する。	IN	
8 基礎・固定部			
a 基礎・固定部	①固定金具の劣化及びボルトの締みの有無を点検する。	IN	
b 連絡装置	②防振金具、ストッパー等の劣化の有無を点検する。	IN	
c 動機	③地盤手ゴムの損傷の有無を点検する。	IN	
d フレーリー	④ベルトの損傷等の有無を点検する。	IN	
e ハンドル	⑤ボンブの吸込圧力及び吐出し圧力を計容範囲内にあることを確認する。	IN	
f ハンドル	⑥ダクト内に真空度及び吐出し圧力が計容範囲内にあることを確認する。	IN	
9 制御装置			
a ハンドル	①電磁開閉器の接着部の劣化の有無を点検する。	IN	
b 真空開閉器水位調整器	②表示ランプの点灯の良否を点検する。	IN	
c 電磁弁装置	③動作の良否を確認する。	IN	
10 連絡調整			
1 連絡	①運転方向が正しいことを確認する。	IN	
2 タンク	②異常音及び異常振動のないことを確認する。	IN	
3 水生成装置	③電源電流が規定電流以下にあることを確認する。	IN	
11 ポンプ点検表			
点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を確認する。	IN	
2 タンク	②底盤金具の劣化及び固定ボルトの締みを確認する。	IN	
3 水生成装置	③防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	IN	
12 水蓄熱ユニット点検表			
点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を確認する。	IN	
2 タンク	②底盤金具の劣化及び固定ボルトの締みを確認する。	IN	
3 水生成装置	③防振材及び内部のきび、腐食、損傷等の有無を点検する。	IN	

件名	北緯35度(北半球)
図名	仕事表④

件名	北緯35度(北半球)
図名	仕事表④

件名	北緯35度(北半球)
図名	仕事表④

件名	北緯35度(北半球)
図名	仕事表④

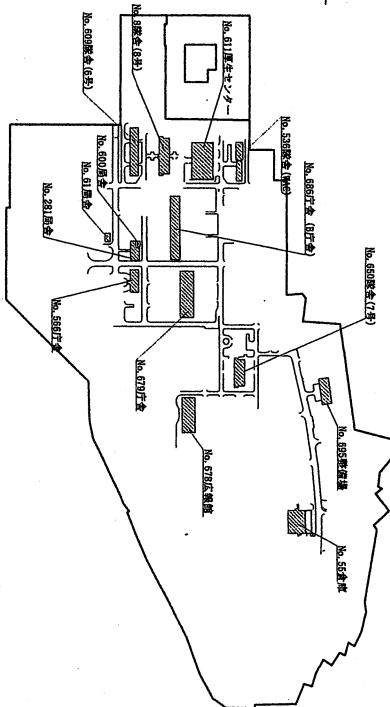
件名	北緯35度(北半球)
図名	仕事表④

(8) エアハンドリングユニット点検表

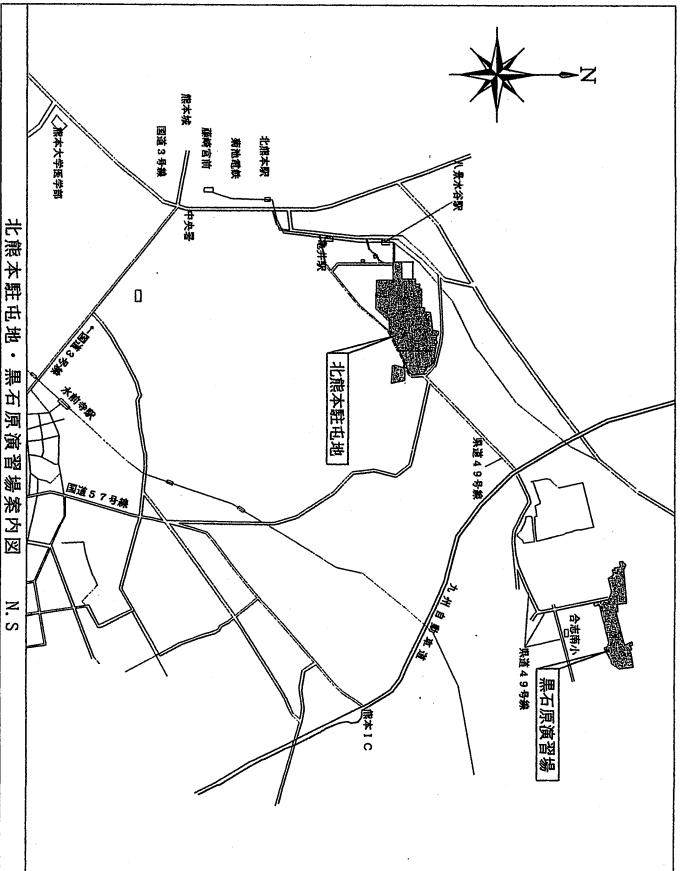
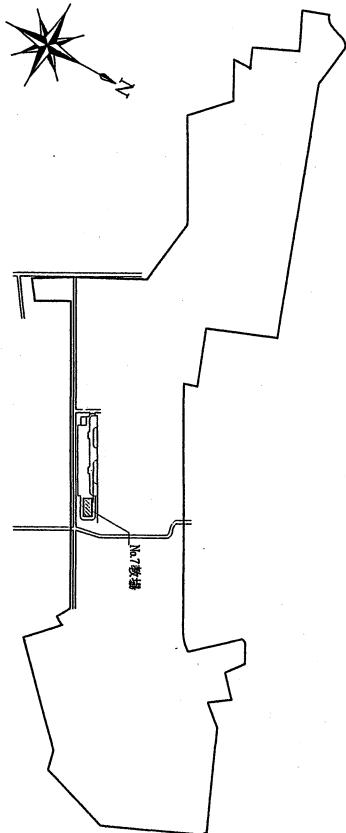
点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①き裂、沈下等の有無を点検する。 ②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無を点検する。	IN	
2 外観の状況		IN	
a 本体 b 保温材及び吸音材	腐食、変形、破損等の有無を点検する。 損傷及び脱着の有無を点検する。	IN	

3 送風機

a 羽根車	①汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。 ②回転ノラングの良否を確認する。	IN	
b シャフト	汚れ、さび、摩耗等の有無を点検する。	IN	
c ベルト	摩耗、離脱、損傷等の有無を点検する。	IN	
d ブーリー		IN	
e 軸受	①異常音、異常振動等の異常の有無を点検する。 ②給油の状態を点検する。	IN	
f カップリング	摩耗、損傷等の有無を点検する。	IN	
g 電動機	①絕縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ②回転方向が正しいことを確認する。 ③電流が定格範囲内であることを確認する。	IN	
4 熱交換機	冷媒水コイル、蒸気コイル等の汚損、腐食、損傷等の有無を点検する。	IN	
5 加湿器	①加湿ノズルの詰まりの有無を点検する。 ②作動の良否を点検する。	IN	
6 エリミネーター	③加湿状態検用ランプが点灯することを確認する。 ④運転調整が正常であることを確認する。	IN	
7 水系系統	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。	IN	
a ドレンパン	本体のドレン排水機能を行い、詰まりのないことを確認する。	IN	
b ドレン排水		IN	
8 エアフィルター	詰まり、損傷等の有無を点検する。	IN	
a ろ材	詰まり、腐食等の有無を点検する。	IN	
b 槓	①運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。 ②運転電流が定格以下であることを確認する。	IN	



北熊本駐屯地配置図 N.S



北熊本駐屯地・黒石原演習場案内図 N.S

黒石原演習場配置図 N.S

件名	北熊本(R-6)空調機保守点検	縮尺	図示
図名	仕様書⑤、案内図、配置図	国番	6/6
備考	陸上自衛隊北熊本駐屯地 業務隊管理科營繕班	令和6年3月25日	